

東播磨地域の知的障害特別支援学校狭隘化対策事業について

1 事業目的

東播磨地域における知的障害特別支援学校の在籍児童生徒が増加し、既存校2校（いなみ野特別支援学校・東はりま特別支援学校）の狭隘化が喫緊の課題となっていることから、①：いなみ野特別支援学校校舎等の改築、②：東はりま特別支援学校の校舎増築、③：加古川市内に県立特別支援学校を新設整備、の3校を一体的に整備することにより、地域の知的障害特別支援学校の狭隘化を解消し、適正な教育環境の確保を図る。

○東播磨地域特別支援学校2校の児童生徒数の推移

	定員	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R4-定員
いなみ野	252	316	317	321	244	230	239	248	269	267	264	275	288	296	307	329	+77
東はりま	204	—	26	61	174	196	209	221	213	220	230	232	246	252	257	266	+62
計	456	316	343	382	418	426	448	469	482	487	494	507	534	548	564	595	+139

2 今後の児童生徒数の推計と整備規模等

- ・目標狭隘化率を90%とし、合計想定定員は850名とする ※1
- ・生徒数推計方法：過去5年の入学率による推計に外的要因を加算 ※2

※1 これまでの新設整備の定員では、新設時の児童生徒を想定定員としており、新設時以降の児童生徒数増への対応が困難であった。

※2 東はりま特支開校後（H21～）の定員比率を加算

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20
生徒数	507	534	548	564	595	645	707	738	748	748	744	753	785	746	764	786	779	812	822	836	862
狭隘化率(850人定員)	—									88.0%	87.5%	88.6%	92.4%	87.8%	89.9%	92.5%	91.6%	95.5%	96.7%	98.4%	101.4%

3 整備概要

区分	①いなみ野	②東はりま	③加古川市内新設 (加古川市立平荘小)
定員	350人 (252人)	330人 (204人)	170人
整備場所	加古郡稲美町国安	加古郡播磨町北古田	加古川市平荘町山角
敷地面積	約23,000 m ²	約18,000 m ²	約20,000 m ²
工事概要	校舎等改築	運動場に校舎増築	既存校舎改修 新築校舎建築
整備費	約73億円	約9.5億円	約35億円

※定員の（ ）内は整備前の人数